

# 中堅・中小特化の100拠点

## みずほ店舗再編、都市部で

みずほ銀行は4月に実施する店舗再編の概要を固めた。首都圏の1都3県や近畿圏の2府2県を中心に、中堅・中小企業との取引に専念する法人部を100程度設ける。個人向けの店舗は中核店と資産運用の相談などを担う「みずほライフデザインプラザ」に分ける。法人か個人のいずれかに特化することで専門性を磨き、顧客に対する提案の質を高めた考えだ。

みずほは法人と個人の業務を双方手掛ける総合店を多くの地域で展開してきた。今回の再編を通じて店舗の立地や地域特性に応じた役割を明確にする

法人と個人を分離し、再編する店舗の例		
新設の法人部	個人中核店	ライフデザインプラザ(衛星店)
吉祥寺(東京都)	吉祥寺	浜田山
	三鷹	田無、武蔵境
	小金井	国分寺
武蔵小杉(神奈川県)	武蔵小杉	日吉、綱島
	あざみ野	溝ノ口、鷺沼、港北ニュータウン、たまプラーザ、宮前平
	向ヶ丘	新百合ヶ丘
京阪(大阪府)	天満橋	香里、守口、枚方

進むことである。対して業務の効率化を進めるねらいもある。対

象になるのは東京と大阪、京都、神奈川、埼玉、千葉、兵庫、奈良の各都府県に加え、札幌や仙台、名古屋、福岡といった大都市にある店舗。長野や高松などの地方都市では近隣の店舗と役割を分担しづらいため、従来型の総合店を続ける。

新設する法人部は約100とし、3〜5程度の支店が担っていた中堅・中小企業との取引を集約する。法人部は比較的に地域のかなで大きな支店に置く。融資などの資金調達や事業承継、成長に